



令和5年7月1日現在
世帯数 2,892 世帯
男 3,243 人
女 3,384 人
総人口 6,627 人

島立小学校 運動会

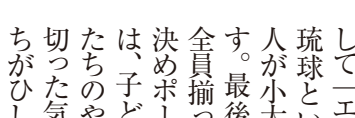
6月3日(土)に島立小学校運動会が開催されました。

前日の台風3号「グチヨル」の影響で、当日は予定よりも1時間遅れのスタートとなりました。

過去3年間は連学年ごと、短時間で種目を行う「運動発表会」でしたが、今年は4年ぶりの全校一斉開催の「運動会」です。前半はかけっこ・短距離走、そして後半は学年ごとの団体・表現種目です。

4月に入学したばかりの1年生は、玉入れとダンスをミックスした表現です。玉入れの合間の「チェッコリダンス」に合わせてお尻を振る可愛らしい姿が、応援に来た人たちの目を引きました。

2年生の「ソイヤ」、3年生の「台風の目」、4年生の「島立ソーラン」は、それぞれ息のあった動きで、何度も練習を重ねてきたことが演技から感じられました。プログラムの最後は、5、6年生の「組体操」と「エイサー」です。



コロナ禍以降は「組まない体操」と呼ばれる1人技の表現でしたが、今年は2人技、3人技、6人技を取り入れた「組体操」に挑戦することができました。そして「エイサー」はダイナミック琉球という曲に合わせて一人一人が小太鼓を叩きながら踊ります。最後の全員揃った決めポーズは、子どもたちのやり切った気持ちがひしひしと伝わってくるものでした。



島立の声を市長へ届ける

6月18日(日)、島立公民館にて「市長と住民のこんだん会」が開催されました。松本市には35の地区があり、今回で26回目となる市民との懇談には、臥雲市長と伊佐治教育長を中心に、20人弱の傍聴者が参加しました。



懇談会では、「地域の子どもは地域で育てる」をテーマに、寺子屋島立こども未来塾、島立つ子森・杜探検隊、ゆいま〜るこどもひろば運営委員会のメンバー・利用者3団体12人が、活動理念や経験から得た思い、これからの展望や地域に求める要望を交えた活動報告を行いました。今回、26回目にして初めて、小学生、中学生の発表者が参加した貴重な懇談会でもありました。

臥雲市長の挨拶では、市政の取り組みの1つとして、遊びと学びの関連性の大切さを挙げ、島立での取り組み報告を受けて市政が行える事は何かを考えたという姿勢を示されました。島立こども未来塾の藤森代表からは、10年後を見据えた次世代の育成に向けて地域社会・教育現場の環境が与える影響への考察、実践経験から得られる生きる力の重要性を考えた自然体験報告があり、報告から今後の島立に活かせるものはないか考える機会として貰いたいと締め括られました。



援が行われています。松本大学のゼミ生が活動に関わる点が一番の特徴で、子どもの今に寄り添う活動があり、市政との連携・利用について具体的な課題や要望を交えた報告がされました。

3つの団体からの報告を受けて、市長、教育長からのコメントを交えたやり取りの後、フリートークの時間があり、これまで知らなかった活動を聞いたことへの感謝。地域ごとの活動が特徴的で、違いを個性にして発展していきたい想い。地域の中で活動されている人々の繋がりが、災害時などでの支え合いの下地作りになる点への期待の声がありました。



地域の中で熱意をもって行われている活動と、未来を担う子ども達を繋げる架け橋として、皆さんの力とアイデアをプラスしてみませんか。

貴重な懇談会でもありました。ゆいま〜るこどもひろろばでは、松本大学、子育てサークル、島立公民館、NPO団体が運営に参加し、学習・遊び・フードパントリーの支



美ヶ原のレンゲツツジ



Baby Swallowtail

奈良井川をきれいで思いっきり遊ぼう！ 環境学習・自然体験講座

5月21日(日)、月見橋マレットゴルフ場付近の奈良井川左岸で、島立公民館講座「奈良井川をきれいで思いっきり遊ぼう」が開催されました。

講師に自然体験上級指導者の吉沢紗也加さん、信州新町水辺の水族館講師の中村晃二さん、松本ホテル学ぶ会の横山裕己さんをお招きし、それぞれの分野から専門的なお話と解説をいただきました。

環境問題に目を向けるとともに、島立の豊かな自然を体験する目的で開催された本講座には親子連れ16人が参加しました。

まず30分ほど参加者全員で河原のごみ拾いを行い、5袋分の可燃ごみと1袋分の埋立ごみが集まりました。特にビニールごみが多く、肥料袋なども漂着していました。プラスチックは暮らしの中でも身近な素材ですが、海に流出すると回収が難しくなり、自然界で完全に分解されることはありません。日本海へとつながっている奈良井川でごみ拾いをするのは、奈良井川の生態系はもちろん、海の生態系を守ることもつながるという講師の話聞きながら、親



子で河川環境やマイクロプラスチック問題等を考えるきっかけとなりました。

その後、ごみが見当たらなくなった河原で川遊びや生き物探しを行いました。子どもたちは、網で魚を捕まえるコツを徐々につかみながら、1時間の間に多くの生き物を見つけていくことができました。中には水質など河川環境の良いところにしかな息しない生き物もあり、講師の解説を聞きながら奈良井川の豊かさを実感することができました。



【見つけた生き物リスト】

アブラハヤ	20匹
ウグイ	5匹
ヤマメ	3匹
カジカ	7匹
シマドジョウ	10匹
又カエビ	5匹
コオイムシ	3匹
マメゲンゴロウ	1匹
ザザ虫(トビケラの幼虫)	数匹
ヤゴ	数匹

※捕まえた生き物は観察後に奈良井川へ放流しました。

荒井公民館研修旅行

6月11日(日)、荒井公民館研修旅行が4年ぶりに行われました。当日は朝から雨の降る中、21名の参加者が手配されたバスに乗り、上高地に向かいました。途中風穴の里で休憩し、目的地の上高地バスターミナルに到着しました。

雄大な穂高連峰を見ることはできませんでしたが、河童橋で記念写真撮影後、各自昼食までの自由時間にお土産を買ったり、河童橋周辺を散策したりしながら、雨に煙る新緑の上高地を満喫しました。中には雨の中、明神池まで足を延ばした強者も数名いたようです。



てるてる坊主

昼食は上高地食堂で、季節の食材を使用した料理やお酒を堪能しました。

参加者はコロナ禍から久々に町会の仲間との交流を楽しみました。

町会対抗球技大会はじまる

5月28日(日)、町会対抗卓球・ソフトバレー大会が開催されました。白熱したプレー、対戦後の相手チームへの感謝と敬意、スポーツの良さを改めて感じた大会となりました。

成績

- 【卓球の部】
- 優勝 北栗
 - 準優勝 三の宮
 - 第3位 堀米
- 【ソフトバレーの部】
- 優勝 永田
 - 準優勝 町区
 - 第3位 三の宮



成績

- 【男女混成の部】
- 優勝 堀米
 - 準優勝 三の宮
 - 第3位 北栗
 - 南栗



4年ぶりの開催となった町会対抗球技大会は7月に野球・マレットゴルフ、9月にソフトボールが予定されています。

各大会へ出場された選手の皆様、応援に参加された皆さん、大変お疲れさまでした。

御柱安置所巡り ウォーキング

6月29日(木)、島立公民館、島立地区福祉ひろば共催の御柱安置所巡りウォーキングが開催され、約10人が参加しました。

島立公民館を出発し、一之御柱から四之御柱の安置所まで順に歩いて巡り、道中では御柱総代の参加者から9月に行われる里曳きの説明がありました。公民館に戻った後は、平成11年に実施された御柱大祭の映像記録を鑑賞しながら御柱大祭について参加者同士が語り合いました。

北栗、南栗町会から参加した方は、「実際に安置された御柱を間近で見たり、映像記録を見る機会はありませんでしたので新鮮だった。氏子以外の一般参加者も曳行できると聞いたので、機会があれば一緒に曳いてみたい」と話していました。

